

乍憚口上

御區中様 益御機嫌

克被遊御座恐悦至極に

奉 存 候 随 て 嵐 璃 鶴 義

此度格別之御仁慈をもつて

再勤 仕 る 様 相 成 実 に 当 人 之

身 に 取 て は 最 早 何 れ も 様 方 の

御尊顔も拝せぬ事と存居り

候所再生の心地 仕り心魂身上と共に

旧性の嵐に吹晴候上は名前等も 改

度由ゆへ市川権十郎と改名致させ

何れも様方江御礼之御目見得

仕り候間未熟之芸道も御身捨

なく御鼻肩様之お取立にて

小さき目玉も道くんに大きく

相成候 様 八千人町之

余光之程偏に

奉 希 上 候

以上

月日

九代目

市川團十郎